



■ 五條堀 孝 (名誉教授)

九州大学理学部生物学科卒業、九州大学大学院理学研究科博士課程修了。テキサス大学ヒューストン校集団遺伝学研究センターを経て、1983年に国立遺伝学研究所に着任。教授、副所長を経て、2014年より国立遺伝学研究所名誉教授。現在はアブドラ王立科学技術大学特別名誉教授、静岡県マリノオープンイノベーション機構研究所長。

■ 木村資生博士生誕100周年によせて

私は、1983年に遺伝研に赴任して以来、木村資生が主宰する研究系に配属され、1994年に亡くなるまで身近に接しました。赴任したのが8月末で三島も残暑が厳しい日々が続いていましたが、当時としては珍しい高価な冷風機を買いなさいと、お願いもした訳でもないのに、大きなお金を貸していただいたところから個人的な付き合いが始まりました。遺伝研からの帰宅時に、太田朋子博士と交代で自家用車で三島市内の特定の場所まで彼を送り届けるのが毎日の日課であったので、まさに彼の日常を直に感じることができました。当時はまだ中立説論争が世界的に続いていた時でもあり、彼の緊張感のある研究生活を肌身で感じる毎日でした。時として奇抜でユニークと思われる彼の性格と行動は、研究優先という考え方だけでなく、彼特有の優しさの表れであったと理解すると、いろいろなことに合点がいくと思っています。